

Press Release

2023年2月13日
株式会社コンカー

コンカー、ポストコロナにおける出張の在り方を再定義する 「ニューノーマルトラベル構想」を発表

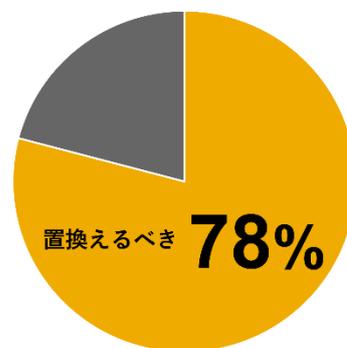
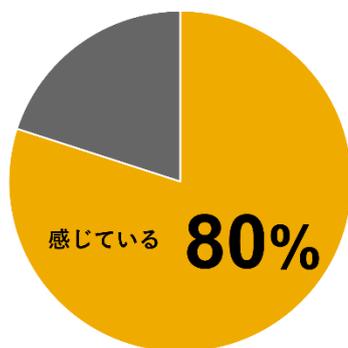
出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三村 真宗、以下 コンカー）は、ポストコロナにおける出張の在り方を再定義する「ニューノーマルトラベル構想」を発表、株式会社 JTB ビジネストラベルソリューションズ(本社：東京都江東区、代表取締役社長 渋谷 正光、以下 JTB-CWT)と構想実現に向けた出張管理ソリューションのデモンストラーションを実施しました。

新型コロナウイルス流行の脅威が続く中、各国で水際対策が進み、国内・海外出張共に回復傾向にあります。出張の必要性の再考、近年の不安定な世界情勢へのリスク対策、ESG 経営に適応した出張方法等、新たな課題が顕在化しています。

コンカーが2022年12月に実施した「コロナ禍で変化した出張観に関する調査」では、約8割の回答者が「海外出張におけるリスクの高まりを感じる」と回答。また、約8割の回答者が「出張をオンライン会議に置き換えることに肯定的」と回答しています。そして、出張において環境に配慮した方法を選択することについては、管理者・出張者両方、前向きな傾向が目立っており、ポストコロナにおいて、出張における価値観が大きく変化していることが伺えます。

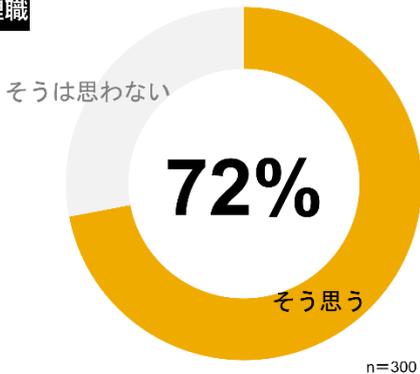
<コロナ禍で変化した出張観に関する調査:2022年12月コンカー調べより>

出張時の**リスクの高まり**を感じますか | 出張は出来る限り**オンライン会議**に**置換えるべき**と思う

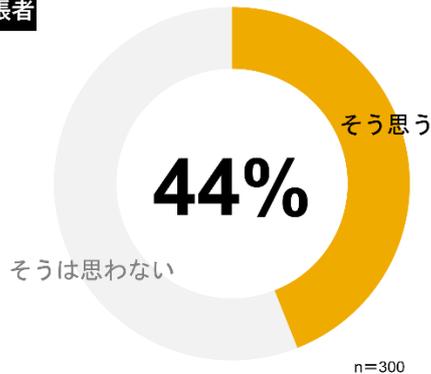


出張に際して、環境配慮を意識すべきと思いますか

管理職



出張者



この結果により、出張者が安全・安心して出張できる仕組み、本当に出張が適切か取捨選択できる仕組み、環境に配慮した出張方法を選択できる仕組みが求められていることがわかります。

一方で出張における普遍的な課題である、ガバナンス・コスト・業務効率化、それぞれの領域で多くの課題が残されており、改善の余地が見込まれています。

出張管理における現状と課題

ガバナンス

出張における意図的な不正が発生したことがありますか



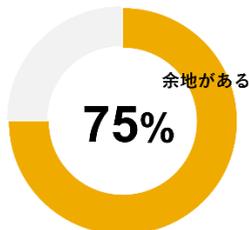
カラ出張（旅費の横領）が社内で生じていると思いますか



n=300

コスト最適化

出張についてコスト削減の余地があると思いますか



業務効率化

出張の手配や精算は面倒ですか



n=300

洞察

出張における不正のリスクが懸念されている。

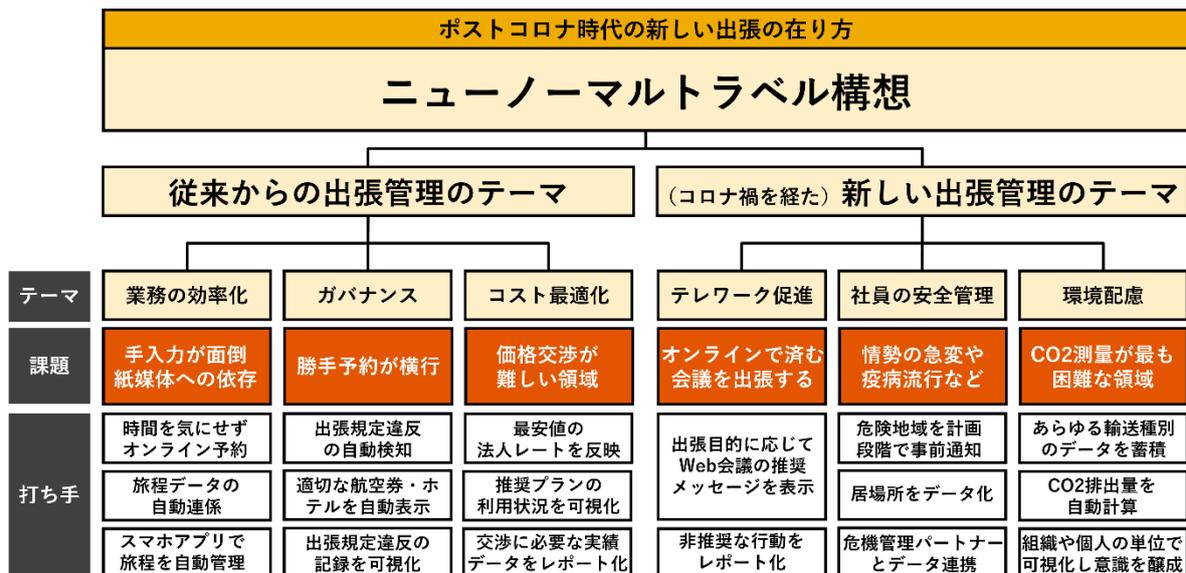
洞察

出張ではコストが十分に最適化されていない。

洞察

出張には業務効率化の余地が多くありそう。

コンカーは、SAP Concur のサービス・取り組みにより、企業の出張における普遍的な課題、アフター/ウィズコロナにおける新しい課題、それぞれを解決する「ニューノーマルトラベル構想」を発表しました。



今回、SAP Concur の新しい連携サービスとして、「JTB-CWT Trip Link」がリリースとなり、より高度な国内出張の管理、プロセスの効率化が実現します。また、コンカーを発起人とする「BTM HUB Japan」を設立し、出張管理の水準が低い日本企業の高度化に向けて協力しあえるコミュニティを立ち上げました。

<出張管理の高度化の実現する新しいサービスと取り組み>

- 新サービス「JTB-CWT Trip Link」(株式会社 JTB ビジネストラベルソリューションズ)

「JTB-CWT Trip Link」とは JTB-CWT の国内出張ポータルサービス(B+PLUS)と、SAP Concur のサービスとの連携を可能とするサービスです。分散しがちであった国内出張情報を「JTB-CWT Trip Link」の導入で SAP Concur に統合し、国内出張管理プロセスの効率化とガバナンス向上を実現します。

- BTM HUB Japan の設立

コンカーが発起人となり 2021 年に発足した任意団体。日本企業における出張管理の高度化を目指し、知見の共有や理解深耕を目的とした団体であり、企業と出張を支えるサプライヤーで構成。2023 年 2 月現在、野村ホールディングス株式会社をはじめ 13 社が所属。

JTB-CWT の取締役兼執行役員の伊藤貴幸氏は、以下のように述べています。

「JTB-CWT は、コンカーと 2017 年に業務提携し、両社が提供するソリューションを融合することで、企業に対する海外・国内出張の手配と管理の高度化と効率化を実現してまいりました。今回 Concur TripLink を活用した連携開発により、今まで Concur Request、Concur Expense への連携にとどまっていた国内旅程データを、SAP Concur のプラットフォーム上への連携が可能になります。これにより、不正防止や業務効率化の観点から国内出張における BTM の重要性が高まる中で、出張管理者様と出張者様双方に対して、新たな価値を提供することができるようになりました。今後も”お客様のビジネスを支え、社会に貢献する”という想いのもと、コンカーとの協業を更に加速させることで、期待を超える価値を創出していきます。」

コンカー 代表取締役社長 三村 真宗は、以下のように述べています。

「この度、「ニューノーマルトラベル構想」を発表しました。国内外の出張は回復傾向にありますが、企業の出張に関する価値観、課題はこの2年間で大きく変化しました。コンカーは時代の潮流に即した新しい出張の在り方を定義し、企業において最適な出張管理・体験を実現すべきと考えています。本記者会見で発表した JTB-CWT 様の新サービスや、BTM HUB Japan の取り組みをはじめ、今後も様々なパートナー様やソリューションと連携し、サービスを拡充することで日本企業の競争力強化に貢献します。」

■株式会社 JTB ビジネストラベルソリューションズ(JTB-CWT)について

JTB-CWT は、JTB と世界最大級の BTM（ビジネストラベルマネジメント）専門会社である CWT との合併会社で、「BTM&IT ソリューション」を事業ドメインとして、ビジネストラベル領域を中心に、お客様へ高度なコンサルティングと先進的な IT を融合した最適なソリューションをグローバルに提供しています。日本におけるビジネストラベルのリーディングカンパニーとして、現在 1,500 社を超える企業にサービスを提供しています。

企業サイト：<https://www.jtb-cwt.com>

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010 年 10 月に設立されました。

『[Concur Expense](#)（経費精算・経費管理）』・『[Concur Travel](#)（出張管理）』・『[Concur Invoice](#)（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルア

プリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または [SAP Concur ブログ](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。